千年迷宮の七王子
ー永久回廊の騎士ー
花鶏ハルノ
相川有
SEVEN PRINCE OF THE THOUSAND YEARS LABYRINTH
HARUNO ATORI YU AIKAWA
presented by
haruno atori
yu aikawa

千年迷宮の七王子
－永久回廊の騎士－
SEVEN PRINCE OF
THE THOUSAND YEARS
LABYRINTH

Seven prince of the thousand years Labyrinth

千年迷宮の七王子
～永久回廊の騎士～

第一幕 ———— 3

第二幕 ———— 37

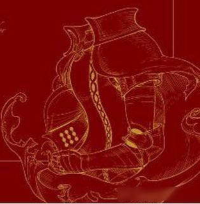
第三幕 ———— 61

第四幕 ———— 91

第五幕 ———— 123

最終幕 ———— 167

Knight of the Eternal Corridor



——貴方は私の
魂の檻——…

第一幕

七王国を抱える
マグナ・エンデトリア帝国――
弱冠16歳にして
皇帝の座についた
ユアン・ジュノー＝イグニスは
マグナ・エンデトリア帝国
いまだその立場に
馴染めないまま
忙しい日々を送っていた
この度は新しい
皇帝陛下の御即位を
謹んでお祝い
申し上げます

即位式の折は多忙ゆえ伺えず…
大変失礼なことを致しました
誰…?
コホン
新皇帝・ユアン・ジュノー=イグニス
前七侯の一人メルヴィン・バーチ卿…
新宰相・アマデウス・フロックハート（通称メサイア）
前の皇帝の時には七国のひとつ「ルーメン領」の領主だったお方です
ルーメン領主だった元七侯…

そ…それじゃあ メルヴィンさんは タイタスの先輩って ことですね！
それなん だがよ ユアン
こいつ退位して からも
領主の城を 明け渡そうと しねーんだわ
新七候・ ルーメン領主 タイタス・ラム
えっ…
当然でしょう こやつは元盗賊団の 首領ですぞ
こんな犯罪者に 粋を尽くした我が城を ほいほい任せられると でも…
貴様…っ
本当のことでは ないか
タイタス…！

そこまでだ…!
御前だぞ!
新帝国騎士団長・ロレンス・アクロイド
こ…困ります メルヴィンさん
引き継ぎは早めに終わらせて頂かないと
そういえば かくいう宰相殿も
前皇帝を暗殺した過激派の元一味だったとか
皇帝陛下ご自身も過激派との関係を疑われておりましたし周りは極悪人ばかり…
噂では…この政権は長くは続かないのではないかと
…!
お…おい 落ち着け堅物!!
…ただの噂ですとも
では陛下

明日の即位披露の宴を楽しみにしております
くれぐれも諸侯や各国大使の前で恥などお掻きになりませんよう
……
…ユアン気にするな
前の皇帝が暗殺されたゆえの早い即位でしたから
少しごたつくのは当然でしょう
う…うん大丈夫…!
な…なんだ貴様!?
儂の退出前に無礼ではないか…!?
何事か!
どけ
…!?
貴様などに用はない

誰だ
止まれ!!
…!
!?
ユアン…!!

なんなんだ お前らは…！
これはこれは
新皇帝のお仲間は城より戦場のほうがお似合いのようだ
ここまで入ってこられたからには明日の宴の招待客だろうが
拘束される前にまず名乗りたまえ
我が名はハンニバル・モーガン
モーガン家の次期頭領である

私は宣告に来た
ユアン・ジュノー＝イグニス

お前のせいでこの帝国は滅ぶ

ハンニバル・モーガン…
新七侯・パルヴァ=ノーテ領主
オーガスト・モーガン
確かに奴は我がモーガン家の次期頭領だよ
跡継ぎだったオーガストが七侯になってしまったからその代わり…？
そうなんだが…
僕はあんな奴は認めていない
え…
あの人っていったいオーガストとどういう関係…
とにかく
あいつの事は僕に任せろ！
見つけ次第追い払ってやる…！
オーガスト…！

詳しく聞きたかったのに…
行っちゃった
君は何か知らないのかロレンス
モーガン家とアクロイド家は親しいだろう
…あんな奴は見たこともない
…それより
どうして奴をさっさと捕えて牢に入れない？
皇帝を手にかけようとしたんだぞ…！
それはできない
知ってのとおりモーガン家は貴族を差し置いて
後ろ盾がある場合
一代皇帝
影響
債務保証
大貴族
モーガン家
借金
（民間）
帝国で一番の大資産家だ
つまり…ハンニバルは皇城にとって大切な客ってことだね…
彼らが後ろ盾になってくれなければ皇帝は貴族たちの言いなりになるしかない
大貴族
影響
一代皇帝
後ろ盾が無い場合
それに彼の言ったことが気になります

ユアン・ジュノー＝イグニス
お前のせいでこの帝国は滅ぶ
まさか…
ユアンのせいで帝国に何か厄災が起きるとでも…？
それはわかりませんが
あの「死神」ハンニバルのことです
何か兆候を掴んでいるのかもしれない
「死神」…？
メサイアあの人を知っているの？
探偵時代に何度か噂を聞いたのを思い出しました
オーガスト・モーガンほど有名ではありませんが
商売人として上げてきた利益はオーガストを上回るとか
別名「モーガン家の死神」

船が沈み積荷を全て失った船主
鉱山で事故が起こり破算した旧家
水害で畑と領民を失い借金で心中した領主一家
彼から宣告受けた相手は
必ずその通りに破滅するとか…
それを予見し危い相手からは確実に手を引くことで利益を上げているということか
もちろん
ハンニバルは占い師などではなく
情報の裏付けがあってのことです
そ…それじゃ…

帝国が滅ぶような予兆を
あの人は実際に掴んでいる…？
早急に調べます
陛下は大人しく明日の宴の衣装合わせを終わらせて下さい
……
…あの男のことは気にするなユアン
俺さ…
せっかく皆に推してもらって皇帝になったのに
何も…
さっきメルヴィンさんにも何も言い返せなかった
出来てないよね…

ロレンス知ってる？
この城には騎士の霊が棲んでいるんだって
大昔のイクニス時代愚かな君主に忠誠を尽くした結果最後には首を刎ねられて
そのせいで騎士には首が無いんだ
それからは暗愚な王が王座に就くたび
復讐のために蘇り
即位の間の長い回廊を夜な夜な歩き回るという…
俺…たまたま聞いちゃったんだ下働きの人たちが噂をしてて
出たらしいわよ！
首なしの騎士が！

今回の皇帝陛下も長くはないかもね…
ユア…
皇帝の承認式の日に
ロレンスがあの回廊で俺の騎士になると誓ってくれた時
すごく嬉しかった
でも…
今の俺にそんな資格…
ごめんロレンス!!
……!?

もう
ここには
居られない…!!
ダッ
待て
ユアン…!
手分けして
陛下を捜す
それと
警備の強化を!!
…ごめん
ロレンス
でも
今は…
下らない主君を
持ったものだな
あの「無敗のL・A・」
ともあろう剣士が

こんなところで地を這い身を隠しているような凡才に
忠誠を誓うとは…
じろり
ハ…ハンニバル・モーガン…
俺はただ…
今は宴の準備なんて気分にはなれなくて
……
明日の宴は重要だ
国内外からやってきた使者を相手に
皇帝が初めて顔を見せる場であり
七国全土を支配する貴族諸侯に
我こそが皇帝だと権威を示す最初の機会でもある
そしてもし…

そこで失態を演じれば貴族共の不興を買い
即失脚すらありうる…
そんなことは関係ありません…！
もし本当に貴方の言う通り
国が滅ぶなら俺は…
こんな…
……
そこに居るのは誰だ!?

怪しい奴め！
こちらへ出てこい！
ビッ
え…
ビイイイイッ
そのまま腕をこちらに回せ
招待客の楽しみを邪魔するとは…
皇帝陛下の騎士団は礼儀知らず揃いなのか
我が名はハンニバル
この国を支える豪商モーガン家の跡継ぎにして七侯モーガン卿の身内にもあたる
不審に思うなら卿に問い合わせよ
し…失礼致しました…！
……

もし…本当に国が滅ぶなら…
俺はここには居られない…
今すぐにここを出て外で何が起こっているのかを突きとめに行かなければ…！
それが俺が原因で起こるのならなおさら…！
……
貴様にそれが止められるとも思わないが

見たいというなら
見てくるがいい
ただし
タイムリミットは
明日の夜
宴に皇帝が
姿を見せなければ
貴様は失脚するが
どちらにせよ…
ガタン
ギィイイイ
モーガン家の
私物だ
通行証もある
この国の崩壊は
もう始まっている
ガラガラガラ

ユアンが…
消えた…ですって？
新七侯・オクト＝ノクテ領主
ザン・オーデュポン
城の中に
居ないのか？
新七侯・中央ソレム領主
ギデオン・レッドフィールド

ロレンスがついていながら…
……
いえ 警備はちゃんとなされています
おそらく城の中を自由に行き来できるものがどこかにかくまっているのでしょう
俺さまでもないぜ!!
じっ
いくら俺だってそこまで甘やかさないぞ!
…いや悪いがそれぞれの私室や執務室にも立ち入らせてもらった
それで見つからないのなら…
誰かが城の外へ手引きしたのでしょう
カツ
ロレンス? どこへ?
城の外まで捜索範囲を広げる
だったらソレム軍を貸してくれよギデオン

城外なら騎士団より軍の方が使えるしょ
いいぞ
いや…ユアンは騎士団と俺で捜し出す
ちょ…ちょっと待って下さい
貴方がた明日の宴を忘れてはいませんよね？
ユアンの為にも明日は失敗できないのですよ…？
では明日の件はサンに全てを任せます
メサイア貴方まで…!?
どちらにせよ一度街に出なければと思っていました
個人的に少し気になることもあるので…
メサイア…!?

私がユアンを捜しに行きたいのに…!
本音を言えば俺もだ
ユアンのことだから「国が滅ぶ」と言われてはいそうですかと流すわけにはいかないのだろう
ただ…
ユアンの身に危険があればそれこそ国が終わる
それをわかってくれていればいいのだが…
CINELE
ここは
旧市街のチレネ地区…?
確かソレム一のスラム街だと聞いているけど

ELBERT CAMELON
すごい…！
きれいな泉だなぁ！
ザァ…
なんだ兄ちゃん知らないのかよ
この泉は「エルバートの井戸」っていって
前の皇帝陛下が作って下さった水道なんだ
「エルバートの井戸」…
それまではこのチレネ地区もそーとー汚なかったみたいだけど

エルバート様がきれいな水を与えて下さったおかげで
流行り病や死人が減ったんだって母ちゃんが言ってた
そっか…
凄かったんだね前の皇帝は…
けどさ…
なんだっけ…イグニス血統復古党…？とかいう人らに毒を盛られて亡くなっちゃったんだろ？
それでまんまとイグニスの血を引く皇子が代わりの皇帝になったんだ
そ…それは…
俺そんなの許せないよ…
違う…
血統復古党はむしろ俺たちの敵だったのに…！
ここでそんなことを説明するわけにもいかないし…
トッド？

もう夕飯にするよ
戻ってきなさい
今行くよ母ちゃん
母…ちゃん…?
…!?
ズル…
母ちゃん…!?
な…にこれ…
母ちゃん!!
だれか!!
だれか助けて!!

ゴポッ
母ちゃ…
ゴポッ
ドサッ
な…

ユアンを隠したのはお前だろうハンニバル!!
いったいあいつをどこへやった…
なんだこれ…
オーガスト
会いたかった

お前が皇帝ならば
私はいつでも
忠誠を誓ったのに
てめ…
ふざけるな
ユアン・ジュノー＝イグニスは
もうこの城に戻って
くることはないだろう
滅びはすでに
始まっている
うわあああ
誰か来て!!
誰か…

第二幕

誰か
助けて
誰か…
これ…は
いったい…
何が起こってるんだ…？

中央ソレム軍詰所
とにかく今は
皇帝が城には居ないということを知られてはならない
捜索に出した騎士団にはそれとわからぬように装備を解かせた
装備解いた騎士なんかただのおっさんだろう
知られてはならねーとか言うけどさ
皇帝が行方不明と知らせずに
どうやってソレム軍にユアンを捜させればいいんだ?
焦るなタイタス
僕の言った通りソレム中の街角に兵を配置しておけばそれでいい
あとはこうして待っていれば…

待って どうなるってんだよ！
……
失礼致します！
至急お耳に入れたいことが…！
あ？
旧市街チレネ地区で人々が次々と倒れている…だと？
いったい何が…
やはり始まったか…！
おそらくユアンはその旧市街に居る
なぜわかる…⁉
ユアンは「国が滅ぶ」と聞いてじっとしていられるような少年ではない
それゆえにあの「死神」ハンニバルから厄災の起こる現場を聞き出して出かけていった可能性が高いのだよ

だから僕たちは…
ユアンを連れ戻すんじゃねえ！
ユアンを援護するんだな！
ユアンと共に厄災を追い
うち払い
この帝国を護りぬく…!!
わああああ

どけ…！
…！
皆いきなりどうしたんだ
倒れている人を放っていくなんて
兄…ちゃんも逃げ…なよ…
流行り…病じゃ逃げる…しかない
流行り病…？
でも…どう…して
エルバート様…の造って下さっ…た新しい水道…のおかげ…で
でもさっきあの水道の水が濁っていくのを見た…
流行り病はなくなった…はずなの…に
わああ…

もう だめだ…
俺たちは…
今度は何があったんですか…?
騒ぎを聞きつけた軍がチレネ地区の出入り口を封鎖したんだよ
私たちにここで死ねっていうの!?
封鎖…
封鎖は…正しい
本当に流行り病ならソレム中に広まるのを止めなきゃならないし…
でも…
もしあの井戸が原因ならこの地区の人はいずれ皆病に…
ともかくまずはちゃんと原因を確定しなきゃ…
調べるにはどうしたら…
おい そこの少年

俺さまの手下になって活躍してみねえ？
タイタス…！
どうしてここがわかったの…!?
話はあとだ
今ロレンスと手下がチレネ東側の様子を見回ってるぞ
手下って騎士団のこと？
西側は見ての通りだよ
僕は南側から入りましたが
ざっと見た限り西に比べて東は被害が少ないようです
メサイア…！
これを

これは…？
新水道の引かれていない東側の古井戸の水です
リィプが飲んでる…！
僕も確認しましたが
古井戸の水は妙な匂いもなく使っている住人に病も出ていないようでした
「エルバートの井戸」…新水道のほうはちょっと怪しいですね
新水道を閉鎖するように言ってくるか！
…すごいなメサイアは
来てすぐに水を疑うなんて
タイタスもロレンスも…
俺…
やっぱり一人だと何もできなくて…

いったい何を言うかと思えば…
軍を動かしたり被害状況を調べるのが君の仕事だとでも思っているのですか？
…城を出てきたのはやっぱり馬鹿なことだった…？
迷惑しかかけてない…かな
でも俺はやっぱり…
あそこでじっとはしていられなかったんだ
…皆が来てくれたおかげでなんとか被害の範囲が抑えられそうだよ
あとは少しでも治療に人手を回して…
…それはどうかな
え…

早速ですがこちらにサインをいただきたい
こ…これは!
ソレム大学への立ち入り許可証…っ
何で今急に…
入りたいのはソレム大学のあの「オセロ・ブラックモア」の研究棟です
オセロは皇帝を暗殺するための毒をそこで作り出したんだよね
彼が前皇帝を暗殺した連中の一味だと露見したあとは閉鎖されているはずです
で…でも今回のことは関係ないんじゃ?

だってオセロは俺たちの出会った迷宮城で死んだんだから…
だがその「一味」はまだこの国に残っている
ま…まさかメサイアは
これがただの病気じゃなく
過激派が故意に引き起こした事件だと…
それを調べに行きたいと思います
ついでにこの新水道の水についても
すぐにロレンスが来ますから
そこを動かないように
……

血統復古党が
ここの人たちに
毒を…?
俺の…
せい…で…?
ほお…
とりあえず
なんとか事態を
収めたようだねえ
……
この程度
収めたとは言えん

その口のきき方…
こちらは先刻の無礼を忘れたわけではないのだぞ!
どうでもいい
こちらとしてはこの事案がどのような高価で売れるかだ
ふふっ
そういうことなら…
あの少年皇帝が街中で間違って命でも落としてくれれば気分は良いが
それではこちらに何の地位も手に入らないからな
己の無能さに気付き
この国を放り出すか
最低でも明日の宴に欠席して失脚するか…
どちらにせよ 貴様に好きなだけ褒美をくれてやろう

面白い
はたして貴様にどれだけ払えるかだな
帝国が手に入るならいくらでも安いものだ
それよりこれで本当に事態が収まっては何もならんのだぞ!
…おい貴様!
ハンニバル・モーガン…!!
悪夢というのはどこまでも転がっていくものだ
収まるわけがない

愚かな君主の下では
国が滅ぶのもあっという間だ
その愚かしい様を存分に見せてもらおうか
ユアン・ジュノー

これがもし血統復古党の引き起こした事件なら…
彼らは俺の代わりに人々を傷付けてるんだ
一刻も早く止めさせる…！
チチィ
前皇帝の引いた新水道は確か水源が城と同じはずなんだよね
えーと
だけど城の中で病になった人は居なくて…
ってことは城からチレネ地区までの地点で誰かが毒を流しているってことだ
もっと城に近い北側かも！
行ってみよう！
チチィ

ここは…
チレネ地区の上水道の取り込み口…？
鍵が壊されている…
ユアン・ジュノー＝イグニス
まさか皇帝御自ら乗り込んでいらっしゃるとは…

チッ
……
君たちの首領だった人も
リーダーのオセロも
もうこの世にはいないよ
俺に
何の用なの？
ほう？
この流行り病が
我々の
仕業であると？
我々の狙いが
お前への復讐なら
どうする？
だったら俺を
直接狙うはずだよ
でも君たちは
チレネ地区の水道に
毒を入れた
つまり
地区の人々を
人質に取ったんだ！
だから狙いは
俺を殺すこと
じゃない…！

俺と取り引きしたいなら俺を生かしておくはずだから…
だからここへ来た！
もう人々を傷付けないで
直接俺に言って欲しい…!!
いいだろう我々の欲しいものを言おう
まずはお前が皇帝の座より退くこと
そして我々のいう通りの人物を後継者として公表すること
そ…その人物って…？

さあ誰にしようか
この帝国を欲しい者は数多と居る
我々はその報酬で組織を存続させていける
報酬だって…
そんなことの為に水道に毒を…？
お前から心良い返事は期待していないさ皇帝陛下
我々はただお前を生きて捕らえればそれでいい
…？
我々の持つあらゆる毒の力で
お前を中毒にし廃人にし操り人形にすればそれで済む
今ここで捕まるわけにはいかない…
ドン
な…

…!
こんな簡単に陛下の身柄が手に入るとはね…
…っ

まさか逃げられるとでも…？
さあまずは四肢が動かなくなる毒でも飲んでもらおうか
…まだだっ
もう限界だ
まだ…
もっといろいろ聞き出せると思ったのに…

そろそろこの者たちに教えてやるべきだろう
ユアン・ジュノーの後ろには常に俺が控えていることを

第三幕

～～～～ッ
ユアン……！
……
ごめん
合流したあとせっかくこっそりついてきてもらったのに
たいしたことも聞き出せなくて……

いや充分だ！
ともかく今回の疫病騒ぎは本物の疫病ではないとわかった
偽の疫病…
血統復古党の残党が水道に毒を入れて…
あいつら俺を皇帝の座から追うために
チネレ地区の人々を傷付けたんだ…
今は皇城に急ごう！
騎士団長！
戻って治療の手配をしなくちゃ…！

どうした
皇城の門が…！
…？
こ…これは！
皇城の入り口が閉鎖されている…？

いったいなぜ…
ロレンス様
だめです！他の門も全て同じようにルーメン軍が閉鎖しています
ルーメン軍…？
ルーメンといえば…
こらァ!!
貴様らいったい誰の許しを得て
そんなところに突っ立ってやがる!?
タ…タイタス様
確か今はタイタスの領地だよね
さっさとここを開けろ!!
ガタガタ
帝国騎士団長のロレンス・アクロイドだ！
我々を中へ！
ギィ

おやおや
これは皇帝陛下
…
カッ
カッ
カッ
前ルーメン領主のメルヴィンさん…
…に似たただの少年か
陛下は皇城の内側にいらっしゃるはず
……
てめえかよ!!
勝手にルーメン軍を動かして皇城を閉鎖しやがったのは!
首都で疫病が発生したと…聞いたのでね
これはいかんと
護衛の為に郷から同行させた我がルーメン軍に門の封鎖を命じたのだ

なにせ今この皇城には明日の即位披露の宴に招かれた各国大使や
国中の重要人物
そして新しい皇帝陛下と七侯がいらっしゃる
疫病はなんとしても皇城の中に入れるわけにはいかぬ
そう考え首都ソレムからの往来をいっさい絶っているのだよ
え…
疫病は…
これ以上広がったりはしません!
原因や発生源は明らかになりましたし
ただの少年の言うことなど信用するものはおらぬ
今は一刻も早く治療のための人手と物資を…
……
あっ…

ま…待って！
待って下さい！治療の手配だけでも…
フン
貧民どもの治療など
そんなことをされて妙に名声を高められても困るのだよ
貧民街に水道を引いて人気を得た前皇帝エルバートのようにな…
お待ち下さい！
通せ!!
阿呆どもが!!
ソレムは俺の領地だぞ!!
しかしここはなんぴとも通すなと…
通して差し上げろ

新七侯 ギデオン・レッドフィールド卿は ソレムの領主であられる
領地で疫病が出たと聞いては放っておくわけにもいかないのであろう
たとえ二度と皇城に戻ることはないとしても
……
行くぞ!
ズズズ
これで新七侯も殆どが皇城の外へ…
皇帝と七侯を欠いた明日の宴がどうなるか…
楽しみになってきたねえ
ゴオン…

ギデオン…!
無事だったかユアン!
チレネ地区の様子はどうだ?
なんとか被害の拡大は食い止めた
病人はソレム軍に運ばせて
はあ…
皇城に入れるつもりがこのざまでよ…
とりあえずソレム城を使ってくれ!
俺は街で医者連中をかき集めてくる
ギデオンはたよりになるなあ
さすがは街の運動家出身だけあって顔が広そうだ

だけど皇城へは……
容易に戻れそうにないな…
あっちゃーギデオンまで出て行っちゃったかー
仕方ないですね
そういう人です
騎士団を動かせるロレンスが居ないんじゃ内側から閉鎖を解くのも難しそうだな…
……
オーガスト私に手を貸して頂けますか？

手？
いいけど？
ポン
ユアンたちは
必ず皇城へ
戻ってくる…
私はそう
信じていますが
明日の宴までに
多少の時間稼ぎが
必要になるでしょう
そのために
急いで
調達して
欲しいものが
あるのです
城が封鎖された
状態では少し
難しいかも
しれませんが
…
ん
任せろ！
皇帝陛下のためなら
なんだって
手に入れてやるさ

皇帝領に隣接するソレム領の中心地首都ソレムは
皇城とソレム城の城下町を兼ねる帝国一の都市である
新七侯ギデオン・レッドフィールドを主とするソレム城は
皇帝の城「皇城」の目と鼻の先にあった
行き場を失ってソレム城へ逃げ込んだか…
元盗賊のタイタス・ラムはともかく
パラ…
やはり騎士団長ロレンスや新七侯のギデオンは行動が迅速だ
ガラガラ

カッ
さあ
ここで降りて頂きましょうか
……
あれは…
ああ
そのままではご不便でしたね
くい
アマデウス殿
これはなにかの誤解だ…
ソレム大学の学長…!?
なぜここへ…

ドドッ
奴は…
宰相のアマデウス
今のはわざと…？
私に学長の姿を見せて
反応を確かめたのか…？
……
ヘッ

ソレム城内
どうしよう…
みんな状態が一向に良くならない…
様々な解毒法を試してはいるのですが…
このままではみな丸一日は保たないでしょう
…
奴らいったいどんな毒を使ったんだ…?
やはりこちらに居ましたか
メサイア…!

ソレム大学のほうは収穫があった？
ええ見ての通りです
だれ…このお爺ちゃん？
僕がお世話になっていたソレム大の学長です
結論から言うと
メ…メサイアは恩師を縛って連れ歩く趣味でもあるの…？
誰が趣味ですか
やはり今回使われたのはオセロの毒でした

閉鎖されたはずの
オセロの研究棟ですが
鍵を開けた痕跡があり
特定の
ファイルが
いくつか
抜き取られて
いました
特定のファイル…
オセロが
発明した
遅効性の毒の
製法です
お前さ
もしかして
それが
使われたって
最初から
わかってた
わけ…？
もちろん
可能性のひとつで
あるとは思っていた

ハンニバル・モーガンは占い師ではないのだから
宣告された厄災は天災などではない
原因がはっきりしている「人災」だからこそ兆候を掴むことができたのだよ！
なんつうかお前って…
やっぱりメサイアは名探偵だ!!
その毒の製法がオセロの研究棟に保管されていたことを知っていて
血統復古党の残党が奪った…？
実をいえば…
僕がオセロの研究棟へ行ったのはそれを確かめるためだけではありません
他になにかあるの…？

ユアン
オセロが僕たちと同じ皇帝候補のひとりに選ばれたわけを？
たしか…
新薬を発明して人々を流行り病から救った功績で名声を得たとか
…その「流行り病」が人為的なものだったとしたら？
な…
それじゃあオセロは…
自分で毒を撒いて解毒薬を新薬として配ったっていうのか!!
正確には「血統復古党」がだ
ちょうど今回と同じようにね
皇帝候補として選ばれるための功績作りとして…か
卑劣すぎんだろ!!
あいつ殴っとけばよかったぜ!!
それじゃあメサイアは…

もしかして解毒薬の製法を探しに…!?
それがあればチネレ地区の人々が助かるかもしんねーな!
残念ながら…
すでに解毒薬のファイルは持ち去られた後でした…
オセロは自分の身を守るために特に重要なものは仲間にも見つからない場所へ隠していました
その隠し場所から解毒薬のファイルのみが抜き取られていたのです
それを僕ならば探し当てられると踏んでいったのですが
よく見るとオセロの研究棟には二度にわたって荒らされた跡があり
血統復古党以外の誰かが持ち去った…?
と僕は考えました

そして学長を拘束し戻ってきたのです
わ…私は知りませんぞ皇帝陛下に誓って…
陛下から預かった鍵を誰かに渡したのか？
……
それも二度かよ！
一度めは血統復古党にだね？
学長を買収するとなるとそれなりの量の金を積める人物に限られますので
賄賂など決して…！
それじゃあ二度めに解毒薬の製法を持ち去ったのは…
すでに僕なりの方法で目星は付けておきました
……!?
その人物とはおそらく…

あのハンニバル・モーガン
彼が解毒薬の製法を握っています
ハンニバルが…!!
いったい…どういうつもりなんだろう…
ハンニバル・モーガンか
奴は豪商モーガン家の次期頭領だ
ここはやはり…

何かの取り引きにでも使うつもりか？
取り引きか…
ユアン
ん？
できれば窓からは離れていろ…
……
……!?

ユアン！怪我は!?
大丈夫!! それより あれ…！
「ユアン・ジュノー陛下」
これは…！
「私は貴方の欲しがるものを持っています」…？

『貴方に仕える
その騎士と共に
明日の夜明け』
『ルクスの丘に
来られたし』
『ただし
他言無用のこと
他の誰かを伴えば
それをすぐさま
焼き捨てる準備は
できております』
『ハンニバル・モーガン』
これが…その
取り引きだよ
ロレンス
やっぱり彼が
解毒薬の製法を
手にしているんだ
……
どう考えても
罠…だ
危険すぎる…
チネレ地区の住民の
命と引き換えに
皇帝の身を
危険にさらす
ことに…
ロレンス！

考えてる時間はないよ!
ここからルクスの丘までどのぐらいある?
馬を飛ばせばぎりぎり夜明けには…
しかし…ユアン…!
これは…たぶん誰と引き換えとかじゃなくて
俺自身がどうありたいかってことだと思うんだ
だから…行かないと!

…ユアンが そう決めたのなら
行こう
お前の背中が 俺の居場所だ
ソレム城
地下牢
学長は ここでいいか
ああ
いずれは 皇城の牢へ移し きっちり裁きを 受けてもらう
くっそ…

また俺さまはお前のことが嫌いになりそうだぜ
メサイア
はー
お前ばっか格好つけやがって…
いつ嫌いじゃなくなっていたというんだ…
なんだ
まんまと自領のルーメン軍をメルヴィンに乗っ取られて凹んでいるのか
傷をえぐるんじゃねーよ!!
帝国は広い
今はまだ隅々まで僕らの目が行き届かなくて当然だ
まあ焦ってもしょうがねえってのはわかってんだが…
そうだな…
帝国は広い…

我が血統復古党の残党が
このソレムにだけ潜んでいるとでも思っているのか
同志オセロの毒の製法は
すでに全ての同志が手にしている
これから地獄は始まるのだよ
帝国全土に渡ってな…!!

第四幕
これから地獄は始まるのだよ
帝国全土に渡ってな…!!

帝国全土に散らばった血統復古党が
各地で毒を…
やっべー
ありえるじゃんそれ…
誰か！
至急早馬の用意を！
伝令兵を集めろ！
急げ！
はッ
クク…

無駄だ…
もう厄災は止められぬ
この帝国は死へと沈んでいく…！
ギデオン！ユアンを見ませんでしたか？
血統復古党の残党が帝国各地で同じ毒を撒く可能性があります
何だと！
おい！ロレンスもだ
二人揃って消えやがった
各領への警告に陛下御自身のサインを頂きたいのですが
ユアンはここへは戻ってないぞ
ばかな…

こんな時にいったいどこへ!?
くそ…解毒薬さえこちらの手にあれば
毒を撒いても無駄だと牽制できるのだが…
ギデオン様
先ほどお客様の少年がこちらを差し入れしてくれと
少年？
ユアンか…？
お渡しするまで絶対に開けるなと言われまして…
ゴソ…
…!?
ガサゴソ…

食いもんが動いた!?
…開けて下さい ギデオン
チー
チチィ
ユアンのネズミじゃねーかよ!!
食っちゃっていいのかこれ!?
……
だめだ 食うな
チチィ
これは…
ユアンからの伝言ですね
なんて書いてあるんだ?
イグニス文字で〝光〟と
ルクス…
もしかしてソレム領内にある〝ルクスの丘〟のことか?

なんでそんなとこに行きやがったんだユアンの奴…
…ギデオンソレム領内の地図と税関の記録を借りられますか
いいけどどうするんだ?
……
ユアンがわざわざ密かに伝言を残したのには意味があると思います
ユアンにとっても我々にとっても
そして帝国にとっても…
この夜明けが運命の分かれ目となるでしょう

ここが…ルクスの丘(おか)
どうやら間(ま)に合(あ)ったみたいだね…

イグニス時代の聖堂跡だな…
なんでこんなになるまで放っておかれたんだろう
きっと当時は立派だっただろうに
それはここが〝捨てられた聖地〟だからだ
ハンニバル…！

主君であるイグニス皇帝に裏切られ
首を刎ねられたという騎士ルクスを知っているか
皇城の回廊に出るっていう亡霊の騎士のことだね
その彼が主に忠誠を誓い
のちに処刑されたのがこの丘だ
ボウッ
一説によると年若い皇帝はその無能さゆえに
重大な判断ミスを犯してしまった
そのせいで大勢の民の命が失われたという
やっとのことで事態は収まったが
今度は皇帝に対する批難が激しくなり
民衆たちが城へ押し寄せてきた

そこで皇帝は親友でもあったはずの騎士ルクスに
全ての罪を被せ
この丘で公開処刑したのだ
時を経て愚かな王が国を継ぐと
それ以来訪ねる者もなく……
首無しの騎士が姿を現すようになったのだという
もうお前の前にも姿を現したのではないか
ユアン・ジュノー＝イグニス
……

…確かに貴方の言うとおり
俺にはいろいろ足りてないところがあると思う
……
…そのせいで血統復古党の残党に隙を突かれて
すでにたくさんの人々を傷付けてしまった
だから…貴方が解毒薬の製法をくれるというなら
お…俺は俺自身が持っているものをなんでも差し出すよ

ファイルを
では頂こうか
七王国ごと
このマグナ・エンデトリア
帝国を…！

皇城
ザン！
荷物が届いたぞ！
オーガスト！
門が閉鎖された状況でよく持ち込めましたね
やっぱり職人は直接は出入りさせられなかったんだけどさ
この国一番の商売人モーガン家の荷馬車だけは特別ってね
モーガン家…

あのハンニバル・モーガンはモーガン家の次期頭領ということですが…
もしかして貴方の兄弟なのですかオーガスト
んー…
まあ…
そういうことになるのかな
あいつは今モーガン家の養子ってことになってるんだけど
元はといえばうちの使用人でさ…
つうか身分は奴隷なんだ
奴隷…ですか?
ハンニバル・モーガンが…ですか?

はっきり言っちゃうとこの僕の奴隷なんだ
貴方の所有物…ということですか
あいつを見つけたのは外国の船の上でさ
他の奴隷といっしょに並んで競売にかけられていたんだ
僕はあいつの目を見たとたんにどうしても気になってしまって

そこで奴を競り落とした
それが僕の人生初めての買い物だったんだ
たった七百ユノ
それがお前の値段だ
滅びた国の人間の価値は
僕の靴一足にすら及ばないらしい
だが我がモーガン家は徹底した能力主義で有名だ
お前がもし有能ならばのし上がる機会はいくらでもある

もしかして国だって買えるかもな
そんなことが…
はー
だからってあいつが今も国を欲しがってるかっていうとそんなことはないと思うが
ただひたすら憎んでいるんだ…
家族・使用人領民
彼らを滅ぼすような無能者を…

ハンニバルは決して許しはしないだろう
……
…よし
あとは玉座を手放すと七侯の前で宣誓すればそれで退位は完了する
ずいぶんあっさり国を手放すものだな？
やはり何の苦労もなく手に入れたものは惜しくはないか
……解毒薬の製法のファイルを
最初の取り引きはこれで成立だ

では
第二の取り引きを始めようか
…!
その前半のファイルはソレム大学長を買収することでたやすく手に入った
…がこいつはそうはいかなかった

あのオセロ・ブラックモアが解毒薬の精製法を記した後半の文書
これはすでに血統復古党の手に渡っていたのを
私と私の部下が文字通り命がけで手に入れたものだ
いくつもの命がこれのために消えていった…
さてユアン・ジュノー
お前はこれにどれだけ支払える？

あ…
ありがとう
ハンニバル・モーガン
…………
貴方が命を賭け
テロリストの手から
取り戻してくれなかったら
この国は
本当に滅んで
いた…
ユアン…
お…
俺は…
俺には
本当に…

もう
何もない
支払えるだけの
対価が
俺には
何も…!
その通り
貴様には
この国を支える力も
才もない!
その命には
何の価値もない
だが
国民に傷を
負わせた
代償は
払ってもらおう
スッ
あの愚かな
イグニス皇帝と同じように

貴様に忠誠を誓った者の命でな！
選ぶがいい
帝国を毒の脅威から救うこのファイルか
お前の騎士の命
ドプッ

お前自身の手でな!!
ドン
……
…ユアン
答えは出ている
はずだ

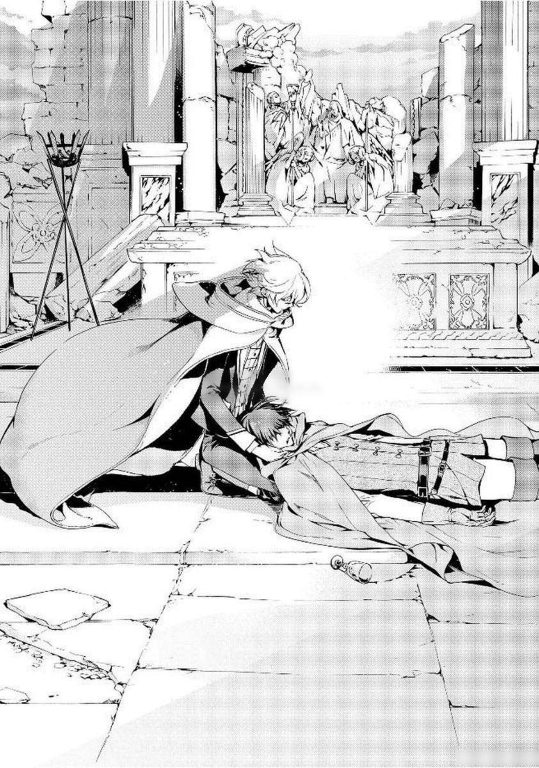
お前が俺や
皆や
この世の全てを信じているなら
あの千年迷宮城を乗り越えたときのように
二人なら必ず乗り越えられる

…言っておくが
解毒薬の精製には
丸三日はかかる
しかしこの毒を飲んで
無事でいられるのは
せいぜい一日だ
それでも？
…俺は
この世で唯一
皇帝に相応しいのは
ユアンをおいて
他にはいないと
ビクッ
そう信じている
ここへ来ることを
選択したのも
ユアン自身で
俺はそれが
間違っていなかったと
今では確信している

だから
どうか陛下(へいか)
正(ただ)しい道(みち)を

どこだ!?
ユアンとロレンスは…!?

ユアン！
居たら返事しろ！
二人を捜せ！
ユアン…



―永久回廊の騎士―

千年迷宮の七王子

SEVEN PRINCE OF
THE THOUSAND YEARS LABYRINTH

第五幕

こいつは…
いったい何が…
…！
ユアン！
ユアン…!?

…ユアン！
僕を見るんだ…！
メ…メサイ…ア……？
ユアン
君は
あのハンニバルを信じた…

それが
この結果だと
…
ハンニバルを
信じた…だと？
そう考えて
いいんですね…？
……
おう！ いったい
どういう意味だ!?
なんであの
死神野郎を信じて
ロレンスが
こんなことに…
話はあとだ！
丘の下に
待たせた馬車を
今すぐここへ…！

くっそ…！
ダッ
なんでだ…！
なんでロレンスがこんな目に…！
誰か!!馬車を!!
聞こえているんだろうロレンス
そのまま静かにしていたまえ
…この匂いチネレ地区で撒かれたものと同じ毒ですね
そうだなるべく毒の回りが遅くなるように息を浅く吸って…

メ…メサイアっ…
俺は…信じて…良かったんだろうか
あのハンニバルと言う男を…
それは…
もう間もなくわかります
フロックハート卿！
来たか！
どちらだ⁉
西側です！
ここから南西方向のベーネ村です！
わかった

ユアン！オセロの解毒薬のファイルを！
あっ…
こ…これ…！
ロレンス…
そのために…立ち上がるんですユアン
メ…メサイア…
ロレンスは助かるの…？
行きましょう
…！

この丘の南西にあるペーネ村へ…！
広場の突き当たりの家へ！
ギデオン…！
なんでここに…？
この村に何があるの？
ちょっと来い

ユアンとロレンスが伝言を残して消えたとき
メサイアがすぐに気が付いたんだ
二人はあのハンニバルに呼び出されて行ったのではと
メサイアなら気が付いてくれると思ったよ
ハンニバルが撒かれた毒の解毒薬の製法を持っていることは
すでに分かっていましたから
なんらかの取り引きを望んでくる…
しかもそれには犠牲が伴うかもしれないと思っていました
犠牲…
ちょっと待ておい

貴様
こうなることを
予測してたって
いうのか!?
チッ
ユアンたちが
黙って消えたから
予測できたんだ!
ハンニバルが
政権の力不足の
代償を求めて
くると…
それは
傷付いた者の
痛みそのもの
ではないかと…
その前に
わかっていれば
もちろん
止めていた
あの
ハンニバルを
暗殺してでも
僕は…
メサイア…
それでも
ユアンの決断は
正しかったんだ
あれを
見ろ

ここは…！
ハンニバルが用意していた解毒薬の精製工場だ
しかもその大部分はすでに工程が終わっていた
…あとはユアンが手に入れた「後半のファイル」の工程を済ませるだけです

ハンニバルは用心深い男ですから
もし僕が彼を暗殺していたら後半のファイルは二度と手に入らず
血統復古党に毒を撒かれても対処できずに
帝国は滅んでいたかもしれない…
だから…本当に…
貴方は正しい道を選ばれたのだと思います
皇帝陛下

ハンニバルの奴を…信じるってのはそういうことか…
彼は結局人々が傷付くのを恐れて警告をしに来てくれたんだ
だから…たぶん軽々しく人の命を奪ったりはしないと
俺は…そう…信じて…
よかったなユアン
ロレンスもチネレ地区のみんなも
きっと間に合うぞ…！

もう少しだロレンス
もう少しで解毒薬が出来るよ…
ハンニバルはあのあと
どこへ行ってしまったんだろう…

俺…は…
それでもどうしても自分が正しかったとは思えないんだ…
だって俺に
ハンニバルのような情報網や
テロリストたちを抑え込むような力があれば
きっと君を…
こんな目に合わせずに済んだはずだから

俺は…
約束通り今夜にでも皇帝の座を退くよ
だから…たぶん…
君の剣の誓いも無効になる
体が治ったら自由にしてくれていいんだ
でも…あの…
それでも友達でいてくれると
嬉しいんだけど…

それじゃあね ロレンス！
またすぐに 様子を見に 戻ってくるよ
――……

本当に行くのか
ユアン
うん
解毒薬のほうは
もうあと数時間で
完成する予定です
一部は
精製しながら
ソレムの患者の下へ
運ぶ手筈になっている
解毒薬が
出来上がるのを
見届けたいけど
俺たちは
俺たちの
すべき事を
やらないと
すべき事って
今夜のパーティーがか？
残念ながらそうだ
即位披露の宴は
新皇帝と七侯としての
内政外交の器が試される
最初のハードルなのだよ
皇帝が宴に
出なかったら
来賓のみんなは
帝国にいったい何が
起きたのかと
疑うし不安になるよ
疫病騒ぎの
最中でもあるし

せめて…
最後ぐらいはさ…
なんだ？
ううん
しかし皇城の門は
相変わらず
閉鎖中だぞ
メルヴィンの野郎！
宴が終わるまでは
俺さまたちを中へは
入れないつもりだな！
陛下！
ひとつだけ
敵を突破
できそうな
隠し通路が
あります
隠し通路？
ただしそこも
安全とは
言えないのですが
…
…うん
そこへ行こう！
必ず間に合って
宴を成功させるんだ！
せめて…

皇帝として最後の仕事だけは
ちゃんと果たしてみせる…！
皇城
それで？
あの若輩皇帝や新七侯らは今夜の宴に間に合いそうなのか？
そのことなのですがメルヴィン様

ユアン皇帝以下三名の七侯そして騎士団長は
あのハンニバル・モーガンにおびき出され
ソレム郊外へ出かけたままいまだに戻っていないようです
帰ってきたところで皇城の中へは入れないだろうがな…
あの死神めうまくやったようだが
皇帝の退位はうまくもぎ取れたのだろうな?
あなたあ
ザン様から今夜の招待状が届きましてよ
宴の時刻が迫っているのに今さら招待状とは
ザン・オーデュポン? ああ元芸人の新オクト領主か
いったい何事か

それが今夜の宴は趣向を変えたいとかで
こちらがいっしょに届きましたのよ
仮面…だと…?
本当にこの僕に
ユアンのフリなんてやれるのか…?
貴方なら大丈夫ですよ

多少の身長差はヒールのある靴で誤魔化したまえ
オーガスト・モーガン
その方法が仮面で顔を隠した仮装とは！
身長の問題じゃなくてさ！
そりゃザンは舞台で他人になりきるのは慣れてるかもしれないけど…
しかしここは一分一秒でも長く時間を稼がなくては…
やっぱりうまくいきませんか？

…いや
皇帝主催の初めてのパーティーとしては異例だけど
さすがだよザン
貴族は皆「仮面」…
つまり無礼講に目がありませんからね！
ご来賓の皆様が広間にお揃いでございます
…さて！
では参ろうか宰相殿
ええ皇帝陛下

ここは…
エルバート前皇帝が造られた上水の隧道…
またここへ戻ってくるとは思わなかったよ
確かにチネレへの上水は皇帝領から皇城を通って引かれているから
城に通じていて当然だったな
ピチョ
なんだかさこういう暗くて湿った場所を歩いていると
千年迷宮城を彷徨った時のことを思い出すね…
不吉なことを言わないで下さい
盗賊がまた何かやらかさないかと冷や冷やします
んっだと…
しっ灯りを消して下さい

あの扉を入れば城内で我ら騎士団の管轄なのですが…
当然簡単には通しちゃもらえないか…
だが確かに表玄関の隊ごと相手にするよりは
はるかに希望がある
できるだけあのルーメン兵たちを殺さないで欲しいんだ
ちょっと待って
陛下
ユアン…！

しかし相手にとどめを刺さねばここを素早くは抜けられません
宴はもう始まっているのですよ…
…多少時間がかかってもここは陛下の仰せの通りに
…そうだな
今頃はきっと「あいつら」が城の中で闘ってくれている
多少の時間なら稼いでくれるさ
ユアン
わ…
サンキューな
ギゅ!!
行くぞ!

そうだ…皆を信じてる…
信じることが俺の選択なんだ
行く手を阻むこのルーメン兵たちも
城の内側に居る仲間も…

な…なんとか誤魔化されてるみたいだぞ！
問題はこのあとですよ
…フン仮面と仮装でいくら正体を偽ろうが
城の中には今七侯が二人しか居ないことはわかっているのだ
問題は即位した皇帝と新七侯が全て揃うのか…
全員が一堂に姿を見せねば即位披露の宴としては失敗となるが
はたしてたった二人でそれが可能なのか
まあ無理だろうな
まっあなた

あれを…！
サァ…！
ス…
さすがザン様
大胆かつ斬新な
演出ですこと…！
バサッ…！
これは…！

今夜の主役のうちのお二人が
続いての御入場であられます…!!
あらあの背格好ザン様とオーガスト様に違いないわ!
何…
ザン様!
ザン様!

……
さすがにギデオンもタイタスも演れる気はしないぞ？
口の堅い者を探して代役を立てましょう
全員の影を揃えたところでいつまで誤魔化せるか…

頼むから早く戻ってこいよ
ユアン…
陛下！
わかってはいたが相手にとどめを刺せないとなると
なかなか先に進めそうにないな
こちらは少数ですからね
……
タイタス…!?

お前らルーメン人の王はこの俺さまだ
その王に従えないっていうんなら…
バラバラッ
これで丸腰だぜ
ざわ…
俺さまはいらないってことだしもはや王でもねぇ
タイタス！
お前らが自分の手で始末しろ
……

どうしようタイタスがぶち切れた!!
ぷっ
何笑ってんのメサイア!?
早く!!
待て
我々はここを何人たりとも通さないように言われていますが
殺せとは言われておりません
ピク…
言われて…?
言われてだと…?
だから俺さま以外の誰かの命令をきくってんなら
俺さまを始末してからにしろって言ってんだよ!!
生きてる限りお前らの王はこの俺さまなんだから…!
誰が…

お前なんかを領主と認めるか!!
タイタス・ラム!!
我がルーメン人の誇るルーメン城どころか
七侯に就任して以来
俺たちが毎日護ってきた国に一歩たりとも足を踏み入れなかったくせに!
あ…うーん
それは…
そっ それは…
俺のせいです…ごめんなさい!!

即位がいきなりだったなんて言い訳にはならないけれど
ほんと力の足りない俺にはタイタスや皆が必要で
だから…
ザッ
新皇帝陛下
我々地方の人間はたぶんどこかで置き去りになって忘れられているのではないかと恐れ
我々を頼りにしてくれる前任者のメルヴィン殿についていってる者も多いのです
どうか我々ルーメン人にも支えを頂きたい
もう皇帝じゃなくなるから…
約…束…は
話はそれだけなのか

ならばいい加減にここを通したまえ！
メ…メサイア！
皇帝陛下は貴様らの愚痴を聞くために城へ戻ってきたのではない！
帝国を混乱から護るためにここに居るのだ
代わりにこの男を置いていくから好きにするがいい
仕方ねぇな…
その態度が腹立つ!!
あとで追いつくわ
仕方ないとか言うな
…結局さ
ルーメンの人たちってタイタスに期待してたのかな
急いで！
そうじゃなきゃ愚痴も出ないさ

ユアンも同じだと思うぞ
俺…はもう期待には応えられない…
今夜限りで…
これで皇帝陛下と
新七侯の全てがお出ましになった…！
ざわ
しかし…
ざわ
こうなると仮面越しカーテン越しというのも味気ないですな
せっかく新しい皇帝陛下に近くでお目にかかれる貴重な機会だというのに
それもそうだな
ざわ
せめてお顔ぐらい拝見したいわ
ま…！
戴冠式もそのあとの承認式も席が遠くて…
ざわ

ど…
どうしようか
ザン…
ざわ
ざわ
……
このままじゃ
…
ユアン…
ではこちらから
伺いましょう！
皇帝陛下
…！
ぜひとも
ご尊顔を…!!

こ…これは…
今夜は来てくれてありがとう
メルヴィンさん

ひとりは新ルーメン領主殿…
俺さまならここだぜ!
きゃー
タイタス…!
早い…
さすがに着替える時間はなかったようだな
ざわざわ
それに常に陛下のお側にぴたりとついて離れないと噂の騎士団長ロレンス殿がこの晴れ舞台に姿を見せられないとは…
おや…
おかしいですなお二方ほど姿が見えませんが
ざわ…
なにか帝国を揺るがすような大失態でも起きましたかな…?

何も起きていないというのなら
ぜひこの場にお呼びになって頂きたい
ヒソ ヒソ
なにせ帝国の誇る騎士団の長ですぞ？
ロレンスは…今…
な…
カツン
なんだあれは…
カツン

ざわ
ずいぶん古めかしい騎士の仮装ですこと
まるで滅びたイグニス朝の亡霊のような
ざわ
ひとり姿を現していない騎士団長その人ではないか
ざわ
最終幕
ガッ
まさか…ロレンスが…
ありえない…

最終幕

騎士団長だ
ロレンス騎士団長
なんだと…
ザッ
全員が揃えば新体制のお披露目がまんまと成功してしまうではないか…
カツン
そんな…ロレンスはまだ毒の治療中で
立ち上がれもしないはず…
だったらあの騎士は誰…？
皇帝を恨んで死んだイグニスの騎士…？
ガシャッ
もしや亡霊なのか…？

わっ

新皇帝陛下!!
ユアン・ジュノー＝イグニス!!
ユアン陛下万歳!!
御即位おめでとう
新皇帝陛下
新七侯閣下
ユアン陛下

マグナ・エンデトリア万歳
帝国万歳!!
くそっ…
これでは話が違うではないか!
メルヴィン様!
ご伝言が
伝言…?
「夜明け前に」
「お望みの取り引きを―…
クッ
どうやらこの王朝も今夜限りのようだな
そろそろ陛下の手を放して頂こうか
名もなき騎士よ

これは失礼した
ユアン・ジュノー＝イグニス陛下
約束のものを頂きに参りました

解毒薬のファイルと引き換えに
退位を迫られただと…？
まさかあのハンニバルが…
あの野郎！ロレンスに毒を飲ませただけじゃ足りねーってのかよ！
本当に国を手に入れたがっていたとは…
…みんな…

ごめん…！
せっかく俺を皇帝に推してくれたのに…
こんな俺を助けて働いてくれたのに
俺…
それ以上言うな！
俺は認めないぞ！
冗談じゃねーぞ!!あんな死神に帝国を渡しちまうなんて!!
……

ユアン…
今こそ…君が望むなら
僕があの男をこの世から消して差し上げる
メ…メサイア！
性悪がそう言うなら俺さまも手伝ってやるぜ
お前はたったひと言「やれ」と
そう言えばいい
ギデオン…止めて下さい
モーガン家の次期頭領を暗殺してただで済むはずがありません
俺も止める気はない
…だめだ！
そんなことで皆の手を汚させない！
それにもう決めたことなんだ
ハンニバル…
あいつめ…

この国の人々を護るためにした約束すら守れないなら
そのために何も差し出せないのなら
俺は
そんな者を
皇帝とは認めない
ユアン…
ユアンを皇帝に認めたのは私たちなのですから
ここはユアンを信じて…従うしかありません
……
話はついたようだな

ならばこちらの
退位宣誓書に
どうか御署名を
ハンニバル…
七侯の皆様方
お前…！
Titus
August
これを
どうする気か
知らないけど
君を信じて
この帝国を渡すよ
ハンニバル

お前まさか…自分が皇帝にでもなるつもりなのか
馬鹿な
私の仕事はあくまで「取り引き」だ
これも商材のひとつにすぎない
…そう
帝国は私が買わせて頂こう
メルヴィンさん…？
貴様…っ
元七侯の貴方が皇帝の椅子を買うというのか
いかなる代償で？
私にもそれなりに貯えがあってね元宰相殿

それに加え皇帝になったあかつきには
我がルーメン領を丸ごと与えてもよい
な…
どうだ?
ただの奴隷としてこの国にやってきたお前には過ぎた褒美だろう
褒美?
私はメルヴィン殿のために皇位を奪ってきたわけではなく
これはあくまで「取り引き」なのだが…?
ちら
……
ああもうどちらでもよいわ
それより本当に皇位が手に入るのだろうな…?
この通り
ユアン元皇帝陛下の宣誓には〝ハンニバル・モーガンの示した者に帝位を移譲する〟と
移譲…
くそっ
あんな奴が皇帝だなんて
…ではこれで取り引きは成立だな
…待った

その取り引きに
僕も名乗りを上げようじゃないか
オーガスト…!?
オーガスト・モーガンか
だがもはや君はモーガン家の跡継ぎではないはず
いかなる財を引き換えに皇位を手にしようというのか
ふふっ
取り引きというのはねメルヴィンさん
相手の欲しがるものを差し出して
ようやく成り立つものなんだよね

お前は本当は国や財産なんて欲しくないんだろう？ハンニバル
……
…それは
“身分の自由”…だよ
ばっ…馬鹿な！
ではお前はいったいこの男の欲しがる何を持っているというのだ…!?
こいつは今も僕の奴隷だからな
今も…奴隷…？
だ…だってこの人はモーガン家の次期頭領だよね？
てことは国一番の大富豪じゃねーかよ！

今まで…ただの一度も自分を買い戻そうとはしなかったのですか？
……
そりゃ僕だって今までに何度もこいつを解放しようとしたさ！
最初は七百ユノ…
つまりこいつが競り落とされた額を自力で稼いだ時にな
だけど…
…俺の価値は七百ユノじゃない
なんでその七百ユノをよこさないんだ⁉
それでお前は自由の身になれるんだよハンニバル‼
頑として解放を拒んだんだよ
それって…
もしかしてオーガストの奴隷でいたいってことじゃないの？

そういうわけじゃない…
こいつは待ってたんだよ
己の値段がとことん吊り上がるのをな…！
……
安い値で自分を買い戻したくなかったってことか
己の身と帝国を引き換えにするとは…
どれだけプライドが高いんだ…？
こいつにプライド高い言われたらおしまいだぜ!?
それでは…
まさか…
皇位はオーガスト・モーガンに…
オーガスト・モーガン

我が身を買い取らせてもらおう
これで皇帝の椅子はお前のものだ
な…
オーガストの…
これは意外な展開だな…
僕も鼻が高いよ
生まれて初めての買い物が帝国を買えるほどに大きく育ったとはね
このオーガスト・モーガンの価値を見抜く目は確かだと
あらためて確信したよ!
自画自賛かよ!!
だから…

ひゅん
わっ
オーガスト…?
ユアン
帝国と引き換えに今度は僕がお前を買うよ
か…買うって俺を…?
もう一度皇帝の座に就くんだ
僕や臣下や七国の民のために
馬車馬のように働けよ!

待て…！
結局皇帝の座があの若造の手に戻ってしまったではないか…！
本当にこれでいいのか…？
…取り引きの相手が
手に入れたものをどうするかは私の知ったことではない
く…腰抜けが…
このままでは済まさんぞ…
認めぬ…

そもそも
そのような
何も持たない
少年が
皇帝の椅子に
相応しいわけが
ないのだ!!
メルヴィンさん
…?
儂は
許さんぞ!
は…?
今だ
この者たちを
囲め!!
…!?

これは……
ルーメン兵か！皇城の中へどうやって…！
いったいどうなってやがる…！
ご自分のなさっていることが本当に理解できているのですかね

これはクーデターを謀ったということでよろしいのか
クーデター…!?
出自の怪しい元工作員ふぜいが小賢しいことだ
…かまうことはない
かかれ!
皇帝と新七侯を亡きものにせよ…!!
ユアン…!
くそっ…剣を置いてきた…
ごめん
ロレンス
すぐに見舞いに戻ると約束したのに
俺はもう…

こ…こ…これはいったいなんの真似…
城を閉鎖するのも疫病が広がるのを食い止めるためだと聞き
任務が誇らしかった
我が国の代表が大切な宴に参加するための警護…
我々はそう伺ってここまで貴方に付いてきたのです

当然ルーメン軍のどの部隊も
暗殺命令には二の足を踏んでおり
そんな中我が小隊はあえて名乗りをあげました
そしてすぐさま城の中の騎士団にこの陰謀を伝え…
もちろん我々も側に控えておりました
だが皇帝陛下と七侯を暗殺せよとは
話が違うではありませんか…！
あのルーメン兵…
あれ？
あいつらさっき上水道で会った…
陛下
騎士団のみんな…！

ロレンス騎士団長が居られない状況でしたので
我々は宰相閣下にご相談を
えっメサイア?
お前…メルヴィンの陰謀を知っていて…
念には念を入れただけですが
しかしこれでメルヴィン・バーチの反逆の意思は
明らかとなりました
ま…待て
逆賊を捕らえよ!
元七侯の特権と地位を全て剥奪
待て…待て…
儂は…
よせ…
以後は司法の手に委ねることとする…!
やめろ…

えっ
いらないんだけど…
司法相
あっ
地平線が…
こうして少年ユアン・ジュノー＝イグニスはその手に皇位を取り戻し
マグナ・エンデトリア帝国は事なきを得た

モーガン家も何もかも捨ててこの国を出るっていうのか
当然だ
自由の身となった今はこの国に居座る理由もない
お前さ
やっぱりユアンが皇帝やることに納得いってないんだろう
はぁ…
…確かに
お前が皇帝ならば忠誠を誓っていたと思う
嘘つけよ!! この天邪鬼!!
テキトーいいやがって
本心というのはなかなか伝わらないものだ…
確かにユアンは未熟者だし超貧乏だし何も持ってないけどさ
未熟なのは僕たちも同じなんだ

今回見ててわかっただろ
僕たちの一人が欠けても事態は収まらなかった
全員で支え合わなければ倒れてしまう…
だから…全員を信じてくれるユアンが必要なんだ
彼が僕たちや国や
全て
ハンニバルお前でさえ信じているから
僕たちは迷うことなく前を向いて歩いて行ける…
私のことでさえ…
ユアンはさお前のことが欲しいんだとよ
…!
…?
国政を手伝うなら最高で七侯までポストを用意するそうだが
どうする?
ぶっちゃけ足りてないからな七侯

まさか…
彼の騎士を傷付けたことを許すとでも…？
何言ってんだ
許すわけないだろ!!
僕だって一生許さないからな！
だったら何故…
ユアンは…
痛みを忘れたくないんだよ
帝国になにか起きるたび
ロレンスを失いそうになったことを思い出すんだろう
そして二度と繰り返さないために…
いつでもお前を迎える準備は出来ているからな
この国に戻ってくるとは言ってないが

それでももしかして
いつの日か…
城の中が静かだと思ったら
タイタスが居ないのですね
タイタスは今ルーメン領に戻ってるんだよ
それはもうすっごく派手な入城だったらしい

せいぜい着飾っていけと勧めておきました
メルヴィンはもともと人気のない領主でしたしタイタスは見た目だけでもそこそこ人心を掴めるでしょう
ミもフタもないですね
が…外見は大切だよね
きっと今頃は地下道で交わした約束を果たしているんだろうな…
名付け親に
うちの村の名物を食え
うちの牛が
妹に会え
うちの母ちゃんが…
ユアン！ちょっと
なに
あの夜…
メルヴィンの陰謀を知った貴方が
わざわざ皇城の内側にルーメン兵を招き入れたのは
反逆を既成事実として
確実にメルヴィンの息を止めるつもりだったのでしょう メサイア
僕はユアンと帝国を護るためならどんなことでもやってのけますよ ザン
ただ結局はその反逆の芽を炙り出して
我々に突きつけてきたのはあのハンニバルでした
僕はそれを始末しただけです

ユアンの配下にどうしてもああいう男が必要だな…
メサイア！
やっとロレンスから許しが出たんだ
会いに来ていいって…！
行ってくるといいですよ
許しだと…？
何を勿体ぶっているんだあの脳筋は…
ふふ
私にはその理由がわかる気がしますよ

初出・月刊コミックZERO-SUM平成29年1月号～6月号

きっと…
ただもうひと目
会いたかったのだと
思う
大切な友に
ユアン・ジュノー＝イグニス
皇帝陛下
この先
幾度の危機が
訪れようと

俺はこのように蘇り
お前に剣を捧げるだろう

千年迷宮の七王子 –永久回廊の騎士–　おわり

おまけまんが「モーガン家の習わし」

え　あとり
おはなし　ありかわ

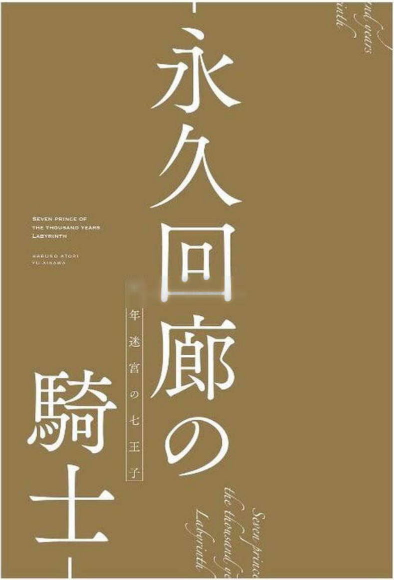
だってあいつは
ずっと僕の側に
ついていたんだぞ
…？

千年迷宮の七王子～永久回廊の騎士～
を読んで下さりありがとうございます。
この永久回廊の出来事は、千年迷宮城の
事件から半年後くらいなのだそうですが、
七人のうち 年齢十代メンバー（ユアン16才、
ロレンス18才、メサイア19才、タイタス17才？）は
若干身長が伸びたかなあと思いながら
描いていました。新キャラのハンニバル→
ですが、かっこよく描こうと頑張りました。[illegible]
[illegible]を描く事になるとは[illegible]
このようにコミックスとして発行される事を[illegible]
相川さま、担当[illegible]さま、アシスタントの皆さま、読んで
下さった皆さま、この本に関わる皆様に感謝いたします。
楽しんでいただけたら幸いです。　花鶏いりん

最後まで読んで下さってありがとうございました！

この「永久回廊の騎士」は前作「千年迷宮の七王子」の続編ですが、一冊で独立したお話をということで作っていきました。花鶏さんの絵でキャラクターそれぞれが活躍するシーンを見れて嬉しかったです。また同時発行の外伝集「暁の王者」にてユアンの兄やハンニバル(16才)のお話など書かせて頂きましたので合わせて見て頂けたら嬉しいです！　相川有 @aikawayou

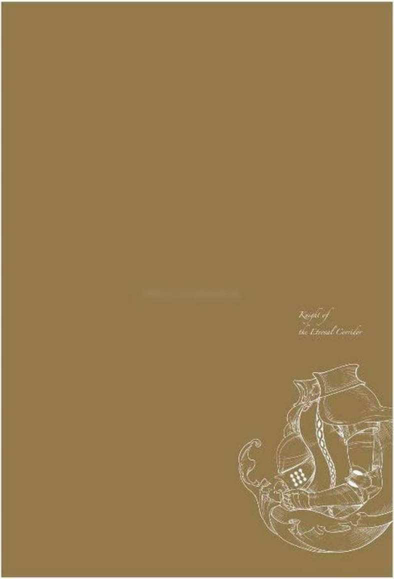
EXTRA PAGES



本体・表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。

EXTRA PAGES



本体・裏表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。

EXTRA PAGES

ー永久回廊の騎士ー
千年迷宮の七王子

花鶏ハルノ
相川有

SEVEN PRINCE OF
THE THOUSAND YEARS LABYRINTH
HARUNO ATORI · YU AIKAWA

Seven prince of
the thousand years
Labyrinth

花鶏 ハルノ

HARUNO ATORI

もう一度7人を描く機会があり
嬉しかったです。
どうぞお楽しみください。

相川 有

YU AIKAWA

最初は語感だけで
「永久回廊の騎士」と決めましたが、
意外にも内容を支えてくれる
サブタイトルになってくれたのが嬉しいです。

背表紙・カバー折り返し

※表記はコミックス発売当時のものになります。

EXTRA PAGES

Seven prince of the thousand years Labyrinth

Knight of the Eternal Corridor

千年迷宮城での特別な試練を経て、大帝国の少年皇帝として認められたユアン。
騎士ロレンスや宰相メテイアにたすけられながらも、
未だその立場には慣れず慌ただしい日々をおくっていた。
そんなある日、死の商人ハンニバル・モーガンがあらわれ
"ユアンのせいで国が滅ぶ"と告げる。
突然告げられた滅びの言葉。その真意は——。

カバー・裏表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。

千年迷宮の七王子

—永久回廊の騎士—

SEVEN PRINCE OF THE THOUSAND YEARS LABYRINTH

著者　花鶏ハルノ　相川有

発行者　杉野庸介

[redacted]

担当編集　本間由香里

発行所　株式会社一迅社
〒160-0022 東京都新宿区新宿2-5-10　成信ビル8F
電話　03-5312-6851（編集）
電話　03-5312-6150（販売）
http://www.ichijinsha.co.jp

発売元：株式会社講談社（講談社・一迅社）

装幀　岩井美沙（バナナグローブスタジオ）

ISBN978-4-7580-3287-2　Printed in JAPAN

IDコミックス

●この作品はフィクションです。
実際の人物・団体・事件などには関係ありません。

© 花鶏ハルノ・相川有／一迅社 2017／Printed in JAPAN